

「自立」「共生」「貢献」

福生市立福生第一中学校

福生市熊川845
電話 042 (551) 0321
FAX 042 (530) 7447



一中だより

12月号②

令和5年12月25日 発行

福生一中ホームページ NEW→ <https://fussa-1j.hs.fussa.school/>

学校の日々の様子をブログで紹介しています。



一流選手からの学び

(2学期終業式講話の要旨)

校長 金子 敏治

2学期は多くの行事を通して、生徒一人一人の成長や学びを感じる学期となりました。今年も残り1週間です。「1年の計は元旦にあり」との言葉のように、この冬休みに1年を振り返りながら新年の目標を立てましょう。今日は目標を考える上で、より良い目標設定の方法について、大谷翔平選手を参考に一緒に考えたいと思います。

大谷選手は「投打の二刀流」、「大リーグ史上初の満票で2回目のMVP受賞」を始め、数々の実績を残し、世界中から愛され称賛されている選手です。今の彼があるのは、生来の素質や才能もあるかもしれませんが、大きな理由の1つに、彼が高校1年生の時に作成した「目標達成シート」があります。そのシートに、1つの大きな夢（大目標）を設定し、その目標達成のために必要な要素（中目標）と具体的な取組（小目標）を決めます。彼は、大目標「高校卒業後、プロ野球8チームからドラフト1位指名を得る」を実現させるために、8つの必要な中目標を決め、その中目標1つ1つについて具体的な取組内容を9つ考えました。中目標の中には、当然のことながらピッチャーやバッターとしての技術の向上など野球選手として必要な要素を挙げていますが、さらに素晴らしいことは、野球以外の要素として、「人間性」を高めたり、「運」を得ることまでも考えていたことです。そのための具体的な取組として「ゴミ拾い」、「道具を大切に使う」、「部屋そうじ」、「礼儀」、「感謝」、「思いやり」、「あいさつ」、「プラス思考」などを挙げています。彼が審判や応援してくれるファンの方々を大切にする場面を報道等で見かけます。彼はそのような行動を自分の夢を実現するために必要なこととして考えました。その行動を意図的に取り組み続けたことで、次第に自然な習慣となり、大谷選手の今の性格や人柄を築いていったのでしょう。皆さんも、新年の目標を考えるにあたり、目標とその達成のための具体的な取組を考えて、継続して実践してみましょう。来年、一人一人が、さらに輝き、素晴らしく成長していくことを期待しています。



一中校区小中合同あいさつ運動

<保護者の皆様へ>

- ・12月29日（金）～1月3日（水）は、学校閉庁期間で機械警備となるため、校内に入ることにはできませんのでご注意ください。
- ・学校評価アンケートの御協力ありがとうございました。皆様の貴重な御意見を今後の教育活動に生かしていきます。